

第5回 高1英語

総評

今回の試験では、リスニング、文法・語法、英作文、長文読解など多様な形式で出題し、基本的な文法・語法の知識から表現力・読解力・記述力がどの程度ついているかを試すことで、総合的な英語力を測っている。制限時間に対する演習量が多く、厳しい内容になってはいるが、プレステージを受験する難関大の志望者であれば、高校1年生のこの時期に、これだけの問題に対応できる実力をしっかりつけてほしい。また、模試なので得点差がはっきり出るよう、設問によっては部分点を排除し、かなり厳しく採点している。得点を見て落ち込んでしまうかもしれないが、これから何を重点的に復習すれば自分の英語の総合力が伸び、得点が上がるかを知ることのできる絶好のチャンスなので、大問ごとの出来や誤答の内容をきちんと確認して、今後の学習につなげよう。

問題別講評・採点基準

1 リスニング

英文の放送が始まる前に設問に目を通す時間を設けたので、注意して聞くべきキーワードやポイントをあらかじめ予測しておく取り組みやすい。ディクテーション以外の設問は、満点を取る生徒も見られた。聞き取りにくかった箇所については、解答解説の放送内容を音読して復習しておこう。

問題A

英問英答形式の設問であるため、聴き取る力以外に速読力も求められる。

(3) 間違えた生徒が比較的多く、誤答では圧倒的に a が多い。ユキとアヤの関係、高校でどのクラブに入っているかなどの情報を正しく理解しよう。

問題B

「野菜工場」に関する説明文。野菜工場についてニュースなどで見たことがある人にはある程度イメージがわいて解きやすかったかもしれない。

Part 1

(1) 誤答では d が多い。単独で見ると合っているような内容でも前後に合うものを選ぶ。

(4) 誤答では b が多い。野菜工場では、棚を何

段も積み上げることで収穫量を増やすことができるのだが、読み上げ文では racks of shelves あたりの聞き取りがやはり難しく感じられたのだろう。

Part 2

ディクテーション問題。スペリングミスや時制のミスは、単語の抜けや聞き間違い同様、配点分の減点とした。ディクテーションでは、語彙や文法の知識で減点が避けられる場合があるので、文法には自信がある人もここで間違えていた場合は見直しが必要である。また、既知の単語でも、音声ではうまく聞き取れないものについては音読の練習もすること。

(1) start の部分で set や stop とした誤答が多いが、前後の文脈から想像力を働かせて stop のような語は入らないと考えてほしい。また、正しい文にするには、主語 it も忘れてはいけない。

(2) not の短縮形は、最後の [t] がほとんど聞こえないため can との区別が難しい。profit は単語自体になじみがなかったようで、perfect や profect (存在しない語) などが見られた。

2 文法・語法

(3) 誤答では、a の needs to fix がほとんど。needs to be fixed であれば正解。need の目的語として不定詞か動名詞かで意味が能動・受動になるという違いがあるので注意しよう。

(4) 誤答では d の have you been marrying がほとんど。未来の時点についての会話であることに注意して選ぼう。

(8) では疑問文に mind が使われていることに注意が必要。a Yes, I will が圧倒的に多かった。

3 英作文

問題A 整序英作文

語彙・文法の正確な知識と、それらを組み合わせ、条件に合った内容を英文で正しく表現する力を問うた。

(1) (believes this study) worth spending ~としたものが目立った。ここだけを見れば 'believe + O+C' の型 (to be の省略) で成り立つが、選択肢の to と be はここで使わなければならない。

(2) It is about time ... (そろそろ...すべき時だ) の型にしてしまったものがあつた。この形自体は正しいが、about は後に続く the problem の前で使うものと判断すべきところ。(1) と同様、並べて

みてどこか文法・語法的に破綻していないかどうかを確認することが大切。

(3) We hope the time when peace can be brought will come to the world. としたものがあつた。the time を見てすぐに when を続けたくなったのかもしれないが、後半の come to the world (この世に生まれる) の主語が the time である点が不自然となる。

(4) 日本語の読み換えがポイントだったが、Whether you succeed が主語になる点はよく捉えられていたようだ。しかし後半の how の後を you are patient としたものが目立った。

問題B 条件付き英作文

英文の一部を埋める形式で、2つのイラストの状況(相違点)を把握して的確に描写できるかどうかのポイント。採点は、内容面と文法・語彙の面から減点法で行った。

(1) 内容面で盛り込むポイントは「①どのような場所へ行ったか(どんな場所での経験だったか)」と「②人物の表情から読み取れる気持ちや様子」の2つで、それぞれ3点ずつの配点とした。

(2) 内容面で盛り込むポイントは「①人物の表情から読み取れる気持ちや様子」と「②人物が①のようになった原因である場所の変化[ごみの散乱]」の2つで、それぞれ4点ずつの配点とした。

今回の条件英作文は2つのイラストを比べて述べるもので、両者とも取り上げるポイントが比較的わかりやすかったため概ねよく書けていた。自由英作文では賛否のいずれかの立場に立って書く問題もよく出題されるので、日頃から物事を複数の目線で捉える思考訓練をしておくとうい。

問題C 和文英訳

(1), (2) とともに以下に示すパートに分け、減点法で採点を行った。細かい文法ミスが目立ったので、短時間で見直しまで終える練習をしておこう。

(1) ○電車で2人分の席を占拠している人を見ると ……6点

○イライラします ……2点

(2) ○こういう人は～と言うのでしょうか ……3点

○立っている高齢者に気づかなかつた ……5点

○スマートフォンに目をやっていたから ……4点

「2人分の」「占拠する」「高齢者」「目をやる」など、簡単そうに見えてなかなか英語にしにくいと思われる表現が含まれている。読み換えてみると意外

に平易な表現で表せることを再確認してほしい。

4 長文読解

具体例が多く盛り込まれた説明文で、文章の構成としては読みやすいものであつたと思われるが、「ヘルス・ツーリズム」というテーマになじみがなく、読みにくいと感じた人も多かつたかもしれない。

(2) ○However, since international travel is so cheap and quick ……5点

○it is now possible to shop around ……4点

○until you find a private health service ……3点

○that is affordable ……4点

since を「…以来; …してから」のように訳している誤りがいくらか見られた。また、shop around の意味合いをつかむのに苦戦した人もいたようだ。

(5) では、誤答として a や d を選んだ人が比較的多かつたようだ。設問文の「述べられていないもの」という指示を見落とした人がいたのだろうか。

5 長文読解

いじめられっ子 Bradley が、Carla とのカウンセリングで自分が Monster と呼ばれていることをそれとなく相談していること、人を差別することを含めた Carla の世の中の見方が「宇宙人」を例にとって述べられていること、会話の最後の方で思わず Bradley が Carla への好意を漏らしてしまうことなどを読み取り、味わってほしい。小説の一部であるが、「登場人物の発言の意図」といった設問は控えた。

(2) 和訳問題。「その人たちには～が見えない」のみで that's only because の部分が抜けたものなどが見られた。

(3) 「その人も自分が怪物だと思うようになり」「怪物のようにふるまう」の2つのポイントで採点した。後半の「怪物のようにふるまう」の部分が抜けたものが散見された。

(4) 「なぜ醜いと感じるのか」の理由を説明する設問。「美しいと思うもの」や「本物の怪物」について含めるのは的外れ。また「～なので醜いと思うから」ではまとめ方がまずい。

(5) d の代わりに e を選んだ生徒も見られたが、d は Carla の言わば主張のような内容になっており、この物語の肝になるところである。

第5回 高1数学

総評

今回は、必答問題を「数と式」「2次関数」「場合の数と確率」から出題し、選択問題を「図形と計量」「整数の性質」「図形と方程式」から出題した。

全体的に、基本問題はできていたが、応用問題になると手がつかない人が多かった。また、考え方はわかっているが計算ミスをしているもの、ほぼ正答の答案でも、遠回りの解法をとっているもの、論証に不備があるものも少なくなかった。正確な計算をし、式の説明や考えた過程で必要な記述をしっかりと書くようにしましょう。「解答」や「解説」を確認し、よく復習しておいてほしい。

問題別講評

1 小問集合

(1) 因数分解の仕方はわかっていると思われるものでも、文字を書き忘れたり、符号を間違えたりしているものが見られた。

(2) **ウ**, **エ**はできていても、**オ**, **カ**はできていないものが見られた。有理数と無理数に分けて式を処理していく過程をしっかりと復習しておこう。

(3) 比較的手がつけられていたようである。点Aから点Bまで進むときに、点Pと点Qのどちらか1つを必ず通ることがポイントになる問題だった。

(4) **コ**はできていた。**サ**, **シ**は両方ともできている人はあまりおらず、思った以上に難しかったようだ。

2 2次関数

絶対値を含む2次関数を題材とした問題。

(1) 比較的好くできていた。できていないものには、 $x=1$ を代入して $f(1)=2$ から2を答えとするなど、 $f(x)$ の形に慣れていないものも見られた。

(2) グラフを使わずに解いているものも見られたが、 $y=f(x)$ のグラフと直線の共有点を調べる方法をぜひ身につけておいてほしい。

(3) ところどころでミスが見られた。また、最大値を $| -a^2 + 4a - 1 |$ のように絶対値記号をつけて答えているものも見られたが、絶対値記号をはずすところまでしっかり注意してほしかった。

3 場合の数と確率

サイコロの出た目によって石を裏返したときの色の並びについての確率の問題。

(1) 比較的好くできていた。

(2) 場合分けの仕方はさまざまであったが、動点Pが同じ頂点に3回止まる場合を忘れて $\frac{5}{12}$ としてしまっている答案が思っていたよりも多かった。また、場合分けの説明が不十分な答案も目立った。

(3) あまりできていなかった。場合分けに過不足があるものが散見され、しっかり考えて書いている答案は少なかった。

(4) 手をつけられているものは少なく、ほとんどできていなかった。

4 図形と計量

円に内接する図形を題材とした三角比の問題。

(1) 比較的好くできていた。

(2) $\triangle BCD$ の外接円の半径5をすぐに求められるかどうかで差がついた。ものすごく遠回りをして半径5を求めている答案もあったが、三角形の3頂点から等距離にある点が外接円の中心になることに気づいてほしかった。

(3) 四角形を2つの三角形に分けて考えるといった方針はできているものの、最後まで解けている答案は少なかった。これくらいの処理量が無理なくこなせるようになると、十分に力がついていると言えるだろう。

5 整数の性質

正の約数の個数を題材とした問題。

(1) 比較的好くできていたが、約数をすべて書き出して数え上げている答案も見られた。素因数分解から約数の個数を求める方法は知っておいてほしい。

(2) $9=3^2$ より、 p^2q^2 (p, q は素数) で表されることには気づいていながらも、 p^8 でも表されることに気づかず $2^8=256$ を忘れていたものが目立った。

(3) $N(N(m))$ が素数であることから $m=10, 100$ を求めるところまでは取り組んでいる答案はあるものの、 $m=10, 100$ のみであることをきちんと説明できている答案は少なかった。

6 図形と方程式

座標平面上の円を題材とした問題、

(1) 比較的良好にできていた。

(2) 2円が異なる2点で交わることを示すときに、 $OP < r_1 + r_2$ を確かめるだけで $|r_1 - r_2| < OP$ を確かめていないものが見られた。2円が異なる2点で交わるための条件はしっかり押さえておこう。

(3) 3点から等距離にある点の座標を求めるのでいろいろな解き方がある。「解答」や「解説」でいろいろな解き方を確認しておいてほしい。

採点基準

以下に配点の目安を記しますので、参考にしてください。なお、下記は目安であり、立式や計算の過程において、場合に応じて部分的に得点を与えることや、減点することがあります。

また、「解答」以外の方法で解いた場合などは、以下の基準に当てはまらないこともあります。

1 (50点) いずれも答に

(1) **ア**: 4点, **イ**: 6点

(2) **ウ**, **エ**: 5点, **オ**, **カ**: 5点

(3) **キ**: 4点, **ク**: 4点, **ケ**: 7点

(4) **コ**: 3点, **サ**: 6点, **シ**: 6点

2 (50点)

(1) (10点)

答に 10点

(2) (15点)

答に 15点

(3) (25点)

方程式 $f(x)=3$ の解の1つ $x=2+\sqrt{6}$ を求めて 9点

答に 16点

3 (50点)

(1) (5点)

答に 5点

(2) (10点)

確率を求める式に 6点

答に 4点

(3) (15点)

確率を求める式に 10点

答に 5点

(4) (20点)

確率を求める式に 12点

答に 8点

4 (50点)

(1) (8点)

答に 8点

(2) (17点)

答 ($\triangle BCD$ の外接円の半径) に 8点

$CE=6$ を求めて 4点

$\sin \angle CDE$ を求める式に 3点

答 ($\sin \angle CDE$) に 2点

(3) (25点)

$\triangle CDE$ の面積を求める式に 12点

$\triangle BCE$ の面積を求める式に 8点

答に 5点

5 (50点)

(1) (8点)

答に 8点

(2) (17点)

m を素因数分解した形を示して 3点

答に 14点

(3) (25点)

$N(m)$ がみたす条件を示して 10点

a, b の値の範囲を示して 5点

答に 10点

6 (50点)

(1) (8点)

答に 8点

(2) (17点)

円 C_1 と C_2 の中心間の距離を求めて 4点

円 C_1 と C_2 が異なる2点で交わることを式で表し、結論づけて 5点

直線の式を求める過程に 4点

答 (直線の式) に 4点

(3) (25点)

2点 A, B を通る円の式を立式して 7点

2点 A, B を通る円が点 C を通るときの条件を求めて 5点

3点 A, B, C を通る円の方程式を求めて 5点

答に 8点

第五回 高一国語

総評

評論、小説、古文、漢文について、苦手な分野を作らず、バランスよく国語の力を伸ばしていきたい。高一の現時点では、古文・漢文の学習状況によって、点数の差がつきやすく、今回の模試でもその傾向が見られた。古典で思うように得点できなかった人は、まず、単語の意味や文法事項、句形の知識などの基礎をしっかりと身につけよう。基礎固めがこの先の伸びにつながるの、今回間違えたところはきちんと復習しておくことが大切だ。

問題別講評・採点基準

一 評論

(一) 熟語は、一字でも誤りを含んでいたら不可。(b)「援用」の「援」、(d)「還元」の「還」、(e)「疾患」の「疾」に誤りが目立った。

(二) 「採点基準」

※ a 童謡・唱歌の歌詞の舞台を状況証拠から具象化する試みは、b ほぼ推論でしかないから。"と説明して 10点

* a 7点、b 3点。

まずは、傍線部の「その説明」の指示内容を(童謡(唱歌)の舞台を状況証拠から具象化する試み)とおさえ、具象化するものを(童謡(唱歌)の舞台

(風景や人・場所)などとわかりやすく説明できていたかどうか。次に「その説明」が「脆弱」となる理由を述べればよいが、「童謡や唱歌は抽象的だから」という趣旨の説明は、それにはあたらない。

(三) 誤答では(i)が目立っていた。選択肢前半が問題文の論旨とは異なることを確認しておこう。

(四) 誤答は分散していた。選択肢それぞれの意味が理解できていたか、振り返っておこう。

(五) 「採点基準」

※ a 「心のふるさと」とは、b 無意識のうちに自分は日本人であると自明視することで童謡・唱歌に覚える郷愁ではあるが、c その感覚は個人の体験に準拠しない集合的なものであり、虚構にすぎないから。"と説明して 16点

* a 1点、b 7点、c 8点。

「心のふるさと」とは(童謡・唱歌から感じ取るノスタルジア)で(無意識に日本人と自明視すること)で(感じ取っているもの。それが(個人的な体験ではなく集合的なもの)で(虚構であること)をとらえて説明する。前者あるいは後者の説明に偏ってしまっているのが目立った。

(六) 問題文全体を対象とする内容合致問題である。選択肢が三行と長く、問題文の該当箇所と比較して丁寧に検討する必要があった。

二 小説

(一) 全体的によくできていた。間違えてしまった場合は、語句の意味をイメージや先入観で曖昧に覚えていないか、確認してほしい。

(二) 概ねよくできていた。

(三) 「採点基準」

※ a ありのままの自分ではなく舞妓の姿になることよって左京くんと仲良くなるうとした「私」は、b 卑怯なのではないかということ。"と説明して 12点

* a 9点、b 3点。

「魔法」「シンデレラ」「王子様」の比喩がそれぞれ何を意味するのか、答案内で明示できているかどうかで差がついた。

(四) 誤答では(i)が目立っていた。存在感が薄いことに悩んでいた「私」にとって、「ずっと覚えて」という金子さんの言葉が、どれほど大きな意味を持つのか、読み取りたい。

(五) 「採点基準」

※ a 外見を取り繕うことばかりに囚われるのではなく、b 元々内在している自分の本質を大切にしようとして、c 少しずつありのままの姿を肯定していこうと考えている。"と説明して 12点

* a 4点、b 5点、c 3点。
傍線部の直前に注目し、(自分の本質を大切に

つつ、ありのままの姿を肯定していきたい」という要素はよく押さえられていた。「京都人の精神」の部分にも注目して、〈外見を取り繕うことばかりに囚われない〉点まで説明できるとなおよかった。

(六) 誤答は(㉑)が目立った。本文後半に描かれている、京都の景観についての印象の変化と、「私」自身に対する思いの変化を重ね合わせている部分に注目してほしい。

古文

(一) 活用に関する知識不足が目立つ。活用形も、助動詞の接続を理解していればすぐに答えが出たものもある。基礎知識の習得は怠らないように。

(二) (v)「ゆゆしき」の誤りが目立つ。語義だけで(㉒)「不吉な」を選んだ答案が散見された。まずは語義で選択肢を絞るのも大切だが、必ず文脈と照らし合わせて吟味すること。

(三) よくできていた。物語では、人物関係を正しく把握することが読解の鍵となることもあるので、意識してほしい。

(四) ①よくできていた。

②「いくたり」の解釈で迷っただろう。池殿の発言の趣旨も踏まえ〈何倍も〉というニュアンスを導き出せるとよい。

(五) 「採点基準」

「a 頼朝を助けてやれという言葉は、b 大切に思っている池殿の願いなので断りづらいが、c 源氏の嫡子で優秀な頼朝の命を助けることはできないと思っただから。」と説明して
—— 10点

* a 2点、b 4点、c 4点。

〈大切に思っている池殿の願いなので断りづらい〉という要素を欠いた答案が多い。はっきりとした返事ができない清盛の気持ちを、「池殿のましますをば……」からの文脈を踏まえ、説明したい。

(六) 誤答は様々であった。どの選択肢も本文の内容をベースに立てられているので、本文に似たような表現があるからといって安易に選んでしまわないように。

(七) 「採点基準」

「a せめて命だけでも、b 助かったならば、c どうして本来の思いを遂げないであろうか、いや、遂げよう」と訳して
—— 8点

* a 2点、b 2点、c 4点。

まずは逐語的に訳すことができているか、確認してほしい。助動詞や接続助詞、副詞の基本的な訳し方は必ず押さえ、細かい失点をしない現代語訳を心がけたい。

漢文

(一) 思ったより出来が悪かった。

(二) 「採点基準」

「a 齊王淳于髡をして、b 趙に之き(て)、c 救兵を請は、d しむ」と書き下して
—— 6点

* a 2点、b 1点、c 2点、d 1点。

典型的な使役の構文なのだが、出来ていない。

(三) あまり出来ていない。まずは「何敢」の意味に忠実に考えてほしい。

(四) 「禳田者」という誤答が非常に多い。傍線部中の「其」||「禳田者」である。

(五) 「採点基準」

「a 齊王が、b あまりに少ない献上品で、c 楚に對抗できる規模の援軍を、d 趙に請おうとしているから。」と説明して
—— 10点

* a 2点、b 3点、c 3点、d 2点

問題文の趣旨そのものを取り違えていると思われるものが多かったのは残念である。

(六) 「採点基準」

「a 趙が淳于髡に、b 大量の援軍を与えたこと。」と説明して
—— 6点

* a 3点、b 3点。

〈誰が・誰に・何を〉を正確におさえない。